

第 54 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	高ゼミ	チーム名	プライム会員
タイトル	Death By Amazon		
テーマ群	a) 理論・情報 d) 国際経済		
メンバー	築山義央、日浅祐人、山之内れい、矢尾桃香、楠本優衣		
研究計画内容	<p>【研究背景】</p> <p>今日 E コマース業界の発達により、家にいながら画面のタッチひとつで何でも買えるようになり、服や食料品、本など、ショッピングを実際の店舗を訪れずともおこなうことが可能である。</p> <p>中でも Amazon はさまざまなプラットフォームを展開しており、その事業は AWS や広告、Amazon Prime など多岐にわたる。Amazon の強みは「豊富な品揃え」と「迅速な自宅配達」であり、他の小売り業が追いつくのはとても難しいことである。</p> <p>Amazon の攻勢はリアル店舗を抱える小売りセクターのさまざまな企業を苦境に追い込む。膨大なビッグデータを用いて数億種類の商品を販売し、世界最大の総合オンラインストアの名をほしいままにしているが、オンラインショッピングが主流になっていく一方で、日本では物流や小売業を始め様々な問題が起こっている。</p> <p>【研究内容】</p> <p>近年登場した「Death by Amazon」という言葉は、Amazon が存在することで、Amazon 以外の企業や店舗に悪影響を与える見込みがあるという意味であり、これは日本でも看過できない問題として取りあげられている。</p> <p>私たちはこの「Death by Amazon」について、Amazon が小売業に与える影響、また Amazon Effect のポジティブな面とネガティブな面や今後の展望について着目する。</p> <p>【期待される効果】</p> <p>世界を代表する IT 企業である Amazon の利用者が増加すればするほど、日本の小売業は脅威にさらされる。私たちはその中でも Amazon の力を利用し、日本の街並みを崩さないよう共存する必要がある。</p> <p>【参考文献】</p> <p>https://shikiho.toyokezai.net/news/0/296925</p>		